

戦 評

大会名 第63回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県大会

男子 決 勝

会 場 名 : 奥州市水沢総合体育館

主 審 : 紺野 美穂

副 審 : 小野寺 太

試合結果

不来方	3	}	25 - 22	}	0	盛岡南
			25 - 13			
			25 - 11			
			-			
			-			

戦 評

試合時間 1時間03分

第1セット盛岡南は、11番太野、14番村山の両サイドからのオープン攻撃、対する不来方は4番佐々木6番藤井らの速攻を中心にお互い1点を取り合う一進一退の攻防で終盤まで進が、最後は不来方1番花坂のフェイントが決まり1セット目を先取する。

第2セット、巻き返したい盛岡南は11番太野のライト攻撃を中心に反撃を試みるが、不来方の高いブロックと10番藤村のサーブでレシーブを崩され思うように攻撃できずこのセットも失う。

第3セット、勢いに乗る不来方が序盤からリード。なんとか点差を縮めたい盛岡南は、14番村山を投入し反撃を試みるが、勢いは止まらず。

不来方がこのセットも連取し、3年連続11回目の栄冠を手にした。

7～10行にまとめること。

戦 評 者 : 大山 幸司

岩手県バレーボール協会 審判委員会